

“Does the size of local government debt affect the level of debt of off-budget entities? The case of local government in Korea”

「地方政府の債務の規模は、オフ・バジェット団体の債務の水準に影響を与えるのか？ 韓国における地方政府の事例」

Seong-ho Jeong

Abstract

オフ・バジェット団体の債務の急速な増加は、予算制約の結果である。地方政府が債務の増加を伴う財政ストレスに直面したとき、債務制限及び予算制約を最小化するために、地方公営企業の債務に頼る傾向にある。本研究では、2008年から2013年までの韓国における16の都市及び地方について、地方政府の債務水準がオフ・バジェット団体の債務水準にどのように影響を及ぼすのかを、パネル回帰分析を用いて検証した。その結果は、地方政府の債務が増加すると、それにしたがって公営企業の債務も増加することを示している。さらに、公営企業が、公共部門全体の債務の増加による予算への圧力を減じるために利用されていることを確認できる。この実情は、オフ・バジェット団体を利用した地方政府の債務の隠蔽のようであり、最終的には財政上の幻想を作り出す。

Points for practitioners

オフ・バジェット団体とは政府をより大きくし、債務を拡大させるためのツールであるため、オフ・バジェットの債務の制限にシーリングを課すことで、オフ・バジェット債務の使用を制御することが必要になる。包括的な債務管理の観点から、政府のプロジェクトを追求するために、オフ・バジェット団体の債務の使用はより少なくするべきである。さらに、オフ・バジェット団体には、セグメント化された会計制度が導入されるべきである。